平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

1　施策No.	8−1−1		
2　地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち		
3　政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進		
4　施策	多様な文化芸術の創造と創造環境の整備		
5　評価担当部	文化商工部		
6　施策関連課	区長室	生活産業課	文化デザイン課
7　評価者	文化商工部長		

8　施策の目標	質の高い文化芸術活動を地域等と連携しながら展開し、豊島区の文化芸術の全体的な質の向上と活性化を図ります。 新たに整備する文化施設を中心に既存の施設を多様な文化芸術活動の拠点として有効に活用するための取り組みを積極的に図り、区民が良質な文化芸術に接する機会を増加させます。 大学やNPO、企業等と連携を図りながら地域における文化芸術活動を牽引、支援するとともに文化の創造・推進を担う人材を育成します。
9　施策の現状と課題	○東アジア文化都市2019豊島の開催、2019年の芸術文化劇場の完成、池袋西口公園の再開発と野外劇場の設置、南池袋公園の文化事業展開等で大きく文化発信しているため、昨今、特に業界からの「池袋」の評価が高まっている。池袋への期待値が上がっており、多方面からオファーがかかるようになってきた。この機運を逃すことなく、期待に応えられるような街づくりをすることが求められている。 ○　豊島区には多くの文化関連施設・産業が集積しており、区民や来街者の文化芸術活動を誘引するとともに、地域の団体や企業、NPO等による特色のある文化芸術活動が様々な形で展開されている。多様な主体による活動をさらに充実させるためには、新たな文化の創出に向けた創造環境づくりが何よりも重要である。 ○　伝統文化から最新の表現方法までジャンルを超えた文化の融合と発信が求められている。そのため、既存の文化資源を有効に活用し、文化に触れる機会を増やすとともに都市の魅力をいかにして高めていく必要がある。 ○　TIFCOMの誘致など、文化事業の国際化に向けて動き出している。今後もオリンピック・パラリンピックの開催を控え、インバウンドを整えつつ、国際イベントによる国際発信のまたとない機会になっている。 ○　幅広い文化芸術活動をより一層活発・充実化していくためには、文化を支え、発展させる人材の育成が、今後さらに必要となっている。
10　施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等）	2020オリンピック・パラリンピック開催に向けての文化プログラムと、東アジア文化都市2019豊島のレガシー事業へ対応していく必要がある。 また、芸術文化劇場をはじめとする新規施設を有効に活用していくことが求められる。
11　今年度の施策の取組方針	○国際アート・カルチャー都市構想の重要な役割を担う「都市プロデューサー」・「懇話会委員」・「特命大使」の三者の連携を改めて図ることによって、実現戦略の「中間目標」に向けた推進とともに、その後の都市構想における「レガシーづくり」の構築につながる検討を進めていく。さらに都市構想の実現が具体化していく中で、その推進に大きく寄与する公民連携事業を支援していく。 ○東アジア文化都市2019豊島が開催中であり、交流事業・閉幕式典等の開催にあたり、各事業にその要素を加味していくような事業展開にしていく。 ○引き続き、舞台芸術、美術等の文化発信の拠点から区民が文化に親しめるよう鑑賞と交流の機会を提供する。 ○地域で展開されている主体的な文化・芸術活動を創造する活動を支援する。

12　投入コストの推移

費　目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費合計（千円）	431,229	477,961	9,469,441	0	0
うち一般財源分（千円）	426,808	470,176	1,054,858	0	0

13　施策の達成度を測る指標の推移

指標(1)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
池袋演劇祭の入場者数【人】		目標値	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
		実績値	28,040	31,980	34,992		
		達成率	70.1%	80.0%	87.5%	—	—
		達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成		
指標重要度の割合(%)	30	指標設定理由	若手の舞台関係者の発表及び成長の場であるとともに、区民が多様な文化に身近で接する機会ができることを示す指標であるため。				

指標(2)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
文化芸術創造支援事業における創造活動件数（にしすがも創造舎におけるワークショップ参加者数）【件】		目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績値	1,229	948			
		達成率	61.5%	47.4%	—	—	—
		達成状況	C:未達成	C:未達成			
指標重要度の割合(%)	30	指標設定理由	文化に触れる機会の増加と文化の担い手を育成する両面を備えた指標であるため。				

指標(3)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
子ども向け演劇公演と関連イベント参加人数【人】		目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
		実績値	3,233	2,771	2,056		
		達成率	129.3%	110.8%	82.2%	—	—
		達成状況	A:達成	A:達成	B:相当程度達成		
指標重要度の割合(%)	40	指標設定理由	将来の文化の担い手である子ども達の文化に触れる機会の増加と文化の担い手を育成する両面を備えた指標であるため。				

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

14　施策達成状況	平成30年度達成状況　59.1% C：未達成	【達成状況分析】 ○池袋演劇祭への参加者数は、若手の舞台関係者の発表及び成長の場であるとともに、区民が多様な文化に身近で接する機会ができることを示す指標である。30回目を迎えた地域密着型の演劇祭であるが、着実に入場者数が増えている。 ○にしすがも創造舎における文化芸術創造支援事業における創造活動件数は、旧朝日中学校の仮校舎としての活用を受けて、現在は旧真和中学校での実施となっている。そのため、稽古場利用などが不可能となっている。しかし、アウトリーチ事業は継続し、にしすがも創造舎で実施できなくなった事業は、別会場で実施継続している。 ○子ども向け演劇公演と関連イベント参加者数は、平成30年度で12年目を迎える「子どもに見せたい舞台」公演が人気であるが、文化庁や一般財団法人地域創造から補助金の採択額によっては、公演回数を減らす必要があり、入場者数の変動につながっている。 【指標重要度の割合の設定理由】 ○幅広い文化芸術活動の一層の充実化を図り、国際アート・カルチャー都市を構築するためには、文化を支え、育むまちづくりを担う次世代の人材育成は欠かせない取り組みであるため。
15　施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	当施策の事務事業は、良質な文化的なプログラムを提供する事業を中心に構成されている。このような事業は、一般的に継続した実施が求められるものがあるが、区以外にも類似事業を展開していたり、役目を終えた事業なども含まれていることから、選択と集中の判断が不可欠である。	
16　施策貢献度の考え方（設定の根拠・理由）	多様な芸術・文化の創造環境のための環境整備事業（庁舎跡地活用事業、芸術文化劇場整備事業等）や長期的視点での人材育成（創造支援活動や次世代育成事業等）に高い施策貢献度を与えた。一方で、文化プログラムを提供する事業のうち、区以外にも類似事業を展開していたり、役目を終えた事業については施策貢献度を低いものと判断した。	
17　来年度の方針（課題解決策や改善策、成果向上策について）	オリンピック・パラリンピック機運醸成のため、キーマンとなる特命大使をはじめとするより多くの区民へ文化芸術のすそ野を広げるため、各事業への参加できる機会を増やすとともに、芸術文化劇場の整備、Hareza池袋周辺の文化拠点整備を着実に進める。	
18　新規・拡充事業の効果や必要性	オリンピック・パラリンピック開催と、芸術文化劇場・新区民センター、Hareza池袋の活用、東アジア文化都市レガシー事業実施を見据えて計画を策定していく必要がある。施策実現のためにはハード面、ソフト面ともに、より一層充実した事業展開が求められる。	

19　施策を構成する計画事業

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0104-01	国際アート・カルチャー都市推進事業		事業費合計（千円）	26,195	21,490	58,346		
			うち一般財源分（千円）	26,195	21,490	46,404		
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	S:拡充		
0502-01	芸術文化劇場の整備と文化芸術発信事業		事業費合計（千円）	52,176	89,966	9,040,720		
			うち一般財源分（千円）	52,176	89,966	647,876		
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	A:現状維持		
0502-02	あうるすぽっとの運営と文化の発信事業		事業費合計（千円）	193,089	190,344	199,785		
			うち一般財源分（千円）	189,999	187,406	197,522		
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
0502-03	文化芸術創造支援事業		事業費合計（千円）	5,202	3,766	5,446		
			うち一般財源分（千円）	7,752	3,766	5,443		
			現状評価	A：良好	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
0502-04	ぞうしがやこどもステーション運営事業		事業費合計（千円）	5,920	7,032	7,750		
			うち一般財源分（千円）	5,689	6,685	4,019		
			現状評価	B：普通	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A':改善・継続		
0502-05	新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術		事業費合計（千円）	6,000	7,000	8,700		
			うち一般財源分（千円）	6,850	7,000	8,700		
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
0502-06	子どものための文化体験事業		事業費合計（千円）	14,474	14,474	14,474		
			うち一般財源分（千円）	9,974	9,974	10,674		
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	B:改善見直し	一般事業(評価対象外)		

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

0502-07	次世代育成事業助成（としま未来文化財団事業助成）		事業費合計（千円）	5,502	5,944	5,906		
			うち一般財源分（千円）	5,502	5,944	5,906		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★★	★★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
0502-08	文化芸術振興事業助成（としま未来文化財団事業助成）		事業費合計（千円）	84,046	70,962	83,492		
			うち一般財源分（千円）	87,046	70,962	83,492		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
0502-09	豊島の森夕涼みコンサート開催事業		事業費合計（千円）	2,700	2,700	1,850		
			うち一般財源分（千円）	2,700	2,700	1,850		
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★	★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
0502-10	映像文化普及・映像教育事業		事業費合計（千円）	8,289	6,498	6,397		
			うち一般財源分（千円）	8,289	6,498	6,397		
			現状評価	A：良好	C：不十分			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★	★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	B:改善見直し	C:縮小		
20　施策を構成する一般事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0502-11	としま未来文化財団運営助成経費		事業費合計（千円）	119,884	137,391	127,823		
			うち一般財源分（千円）	119,884	137,391	127,823		
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性			一般事業(評価対象外)		
0501-30	としま南池袋ミーティングルームの管理運営		事業費合計（千円）					
			うち一般財源分（千円）					
			現状評価					
	事業特性1	維持管理事業	施策貢献度					
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性					

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

1　施策No.	8-1-2		
2　地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち		
3　政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進		
4　施策	地域文化・伝統文化の継承と発展		
5　評価担当部	文化商工部		
6　施策関連課	生活産業課	文化デザイン課	庶務課
7　評価者	文化商工部長		

8　施策の目標	区内に存在する芸術作品や文化芸術活動、文化財や郷土資料など様々な文化資源の魅力をわかりやすく伝える工夫を行いながら、地域文化を継承し、未来に向けて普及発展させていきます。
9　施策の現状と課題	○　江戸時代の豊島区地域は、江戸の近郊農村として発展し、明治時代以降、鉄道の敷設や道路整備とともに急激に都市化が進み、商工業地域と住宅地域とが混在する地域に大きく変貌を遂げた。こうした歴史的経緯を持つ豊島区には、自由学園明日館、雑司ケ谷鬼子母神堂、雑司が谷旧宣教師館、金剛院山門、長崎獅子舞、冨士元囃子、鈴木信太郎記念館等、貴重な有形無形の文化遺産がある。また、「長崎アトリエ村」や、大都映画撮影所跡、江戸川乱歩旧宅、「トキワ荘」跡など、それぞれの時代を創ってきた多様な文化的事跡や旧跡が存在している。 ○　豊島区は居住者の転出入等に伴う人の流動性が高く、ファミリー世帯に比較して、単身世帯の割合が多いことなどから、地域文化の継承が難しく、地域の歴史や伝統芸能について、十分に知られていない状況がある。 ○　地域固有の文化資源を保存・継承するとともに、発信を行う拠点の整備が必要となっており、前述の通り郷土資料館による歴史・文化の普及、発信事業や旧鈴木信太郎邸の開館に向けて動いているところである。
10　施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等）	2020オリンピック・パラリンピック開催に向けての文化プログラムと、東アジア文化都市2019豊島のレガシー事業へ対応していく必要がある。 また、芸術文化劇場をはじめとする新規施設を有効に活用していくことが求められる。
11　今年度の施策の取組方針	○舞台芸術、美術等の文化発信の拠点から区民が文化に親しめるよう鑑賞と交流の機会を提供する。 ○地域で展開されている主体的な文化・芸術活動を創造する活動を支援する。 ○郷土資料館における企画展の実施。 ○鈴木信太郎記念館を周知を図るための各種イベントの実施。

12　投入コストの推移

費　目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費合計（千円）	221,864	391,632	201,423	0	0
うち一般財源分（千円）	206,443	378,423	233,391	0	0

13　施策の達成度を測る指標の推移

指標(1)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」について、肯定的な回答をする区民の割合【%】		目標値	31.5	31.5	31.5		
		実績値	26.5	26.5	35.2		
		達成率	84.1%	84.1%	111.7%	—	—
		達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	A:達成		
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由	地域文化・伝統文化の継承・発展の趣旨が区民に浸透しているか、実践されているかを示す指標であるため。				

指標(2)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
歴史文化施設への入館者数【人】		目標値	12,000	18,000	18,000		
		実績値	16,215	33,219	51,934		
		達成率	135.1%	184.6%	288.5%	—	—
		達成状況	S:目標超過達成	S:目標超過達成	S:目標超過達成		
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由	区の歴史文化施設が区民に親しまれているかを示す指標であるため。				

14　施策達成状況

平成30年度達成状況	200.1%
S:目標超過達成	【達成状況分析】 郷土資料館は、29年度のリニューアル後、通年での開館となったことと、29年度末に鈴木信太郎記念館が開館したことなどを受けて、入館者数は大幅に増加した。 また、これらの各施設の取組や、文化財関連事業への取組から、区民意識調査における肯定的な回答をする区民の割合が高まっているものと考えられる。 【指標重要度の割合の設定理由】 「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」について、肯定的な回答をする区民の割合は、豊島区基本計画策定のための区民意識調査で得たものであり、成果指標である。 一方で、歴史文化施設への入館者数は、この成果指標に対する活動指標であると考えられることから、同一の割合での設定とした。

15　施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	○文化財の指定・登録数は着実に増えており、講座・展示会等の普及啓発事業の回数増にも取り組んでおり、一定の成果が上がっている。学校教育における文化財の活用事業についても、平成27年度から具体的に取り組んでいる。過年度発掘調査の報告書刊行についても、着実に進捗している。 ○郷土資料館は旧勤労福祉会館の改修工事終了後、展示工事を行い、29年10月1日にリニューアルオープンした。鈴木信太郎記念館については、平成30年3月28日に一般公開を開始し、マスコミに取り上げられるなど、当初の予想以上に来館者が訪れている。今後も企画展や場所を活用したイベント等を開催し、さらなる知名度の向上が望まれる。 ○区にゆかりのある演者による質の高い伝統芸能公演を行う伝統芸能＠南池袋公園においては、東アジア文化都市2019豊島の機運醸成を兼ねて実施し、一定の効果があった。

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

16　施策貢献度の考え方 （設定の根拠・理由）	13の指標設定理由にもあるように今後は、区民に親しまれる歴史文化施設にしていくことが重要な要素と考える。そのため、直営の現施設の維持活用が施策に対する貢献度が高いと考えた。リニューアルした郷土資料館及び鈴木信太郎記念館は区立施設の利用者数に大きな影響を与えたことから、貢献度を★★★とした。熊谷守一美術館の管理運営は定例的な業務となっていること、伝統芸能＠南池袋公園は単発イベントの事業であり、長期的な視点での施策への貢献が難しいことから★とし、それ以外を★★とした。
17　来年度の方針 （課題解決策や改善策、成果向上策について）	○文化財に関する普及・啓発事業の一層の充実を図る。 ○文化財を「ふるさと学習プログラム」活かし貢献できるような事業を展開していく。 ○文化財所有者の文化財保護に要する経費の負担を軽減するため文化財保護事業補助金を充実させる。 ○郷土資料館や旧宣教師館、鈴木信太郎記念館も企画展示を実施し、新たな区民需要を掘り起こし、来館者の増加をにつなげていく。
18　新規・拡充事業の 効果や必要性	○旧庁舎ロビーで年1回開催していた文化財展示に替えて、センタースクエア等で新しい展示企画を実施する。 ○文化財を区内小中学校で活用するため、区内の文化財を紹介する巡回展を実施し、合わせて授業の中で活用されるように、学校との連携を図りながら、学習キット・学校内展示キット等を作成していく。 ○平成29年度に発見された「東池袋貝塚」について、出土物に関する整理、発掘調査報告書作成及び普及作業を行うため、30年度補正予算を計上した。また、31～34年度予算で拡充を目指す予定である。 ○重要文化財に指定された雑司ヶ谷鬼子母神堂の防災設備機器が更新時期を迎えているため、国庫補助金の随伴補助金の増加が見込まれる。 ○28年度の旧宣教師館で展示リニューアル効果による来館者数の増加があったように、郷土資料館の常設展のリニューアルと企画展の実施はリニューアル前のほぼ倍の来館者が訪れた。間違いなく新たな展示は来館者への期待感を持たせられると考える。そのため、郷土資料館・旧宣教師館・鈴木信太郎記念館で企画展示をしていくことは、多くの方に来館していただくうえで効果があると考え、予算拡充を目指していく。

19　施策を構成する計画事業

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1301-05	文化財資源の保護と活用		事業費合計（千円）	71,218	87,082	27,890		
			うち一般財源分（千円）	63,585	78,976	62,503		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★	★★		
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	S:拡充	A:現状維持		
0502-13	（仮称）芸術文化資料館開設準備事業		事業費合計（千円）	27,362	18,098	33,631		
			うち一般財源分（千円）	19,904	13,857	31,596		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
0502-14	鈴木信太郎記念館の活用事業		事業費合計（千円）	50,588	188,864	12,321		
			うち一般財源分（千円）	50,588	188,864	12,321		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	B:改善見直し	A:現状維持			
0502-15	郷土資料館による歴史・文化の普及・発信事業		事業費合計（千円）	18,605	49,335	48,146		
			うち一般財源分（千円）	18,275	48,695	47,556		
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
0502-16	雑司が谷旧宣教師館の活用事業		事業費合計（千円）	10,644	8,769	9,571		
			うち一般財源分（千円）	10,644	8,749	9,551		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
0502-17	熊谷守一美術館の管理運営		事業費合計（千円）	23,342	19,155	24,257		
			うち一般財源分（千円）	23,342	19,155	24,257		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★★	★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	B:改善見直し	A:現状維持	B:改善・見直し		
0502-18	伝統芸能＠南池袋公園事業		事業費合計（千円）			22,550		
			うち一般財源分（千円）			22,550		
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性			D:終了		

20　施策を構成する一般事業

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0501-31	伝統工芸振興事業		事業費合計（千円）	9,806	10,350	12,164		
			うち一般財源分（千円）	9,806	10,148	12,164		
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性			一般事業(評価対象外)		
0502-19	美術作品等展示・管理事業		事業費合計（千円）	10,299	9,979	10,893		
			うち一般財源分（千円）	10,299	9,979	10,893		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	B:改善・見直し	B:改善見直し	一般事業(評価対象外)		

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

1　施策No.	8-1-3		
2　地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち		
3　政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進		
4　施策	交流の推進によるにぎわいと発展の共有		
5　評価担当部	文化商工部		
6　施策関連課	文化観光課	企画課	
7　評価者	文化商工部長		

8　施策の目標	鉄道事業者や様々な交通ネットワーク、周辺自治体と様々な事業で連携し、まちのにぎわいをつくっていきます。 地方都市との交流を推進し、文化・観光を始めとした取組みを実践します。 国際アート・カルチャー都市として、在住・訪日外国人にも魅力的なにぎわいを創出していきます。
9　施策の現状と課題	豊島区は、23区の北西部に位置し、埼玉県や周辺自治体との玄関口となっている。乗降客数第2位の池袋を中心に、各方面を結ぶ5社13路線の鉄道が乗り入れ、池袋駅における1日乗降客数は約267万人にのぼる(平成29年度実績）。 東武東上線、西武線沿線を代表に、国内外の交流都市は86自治体にのぼり、沿線自治体PRや物産交流など、多方面の交流を行っている。 外国籍の区民の増加、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた外国人旅行客の増加を受け、外国語対応や文化体験等、新たなニーズが生まれてきており、外国人のニーズを把握し、滞在しやすい環境づくりを早急に行う必要がある。
10　施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等）	外国籍区民は、豊島区の人口の1割を占めている。また、東京都を訪れる外国人旅行客も増加を続けている。この状況を踏まえ、政府は東京オリンピック・パラリンピックの開催年の2020年における、訪日外国人旅行客数の目標をを4000万人としている。
11　今年度の施策の取組方針	高いブランド力、特色ある文化的背景を持つ地域において、地域資源を活かしたプロジェクトを区民との協働により推進する。

12　投入コストの推移

費　目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費合計（千円）	9,182	8,062	12,246	10,064	10,064
うち一般財源分（千円）	6,212	5,173	5,712	5,712	5,712

13　施策の達成度を測る指標の推移

指標(1)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
「観光情報や物産など、地方の情報に接することができる」について、肯定的な回答をする区民の割合【%】		目標値	25	26.25	27.5	28.75	30
		実績値	20.4	22.5	22.5		
		達成率	81.6%	85.7%	81.8%	—	—
		達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成		
指標重要度の割合(%)	100	指標設定理由	区民が他自治体との交流を感じることができていることを示す指標であるため				

14　施策達成状況

平成30年度達成状況	81.8%
B:相当程度達成	【達成状況分析】 平成26年に消滅可能性都市と発表された豊島区は、対策の1つとして「様々な地域との共生」を打ち出している。現在、86自治体と様々な交流を行っており、本区イベントでの物産展出展など、交流都市の観光案内や名産品販売等を通して、地方都市の魅力を発信している。 【指標重要度の割合の設定理由】 都市の賑わいと、地方の豊かな自然環境及び名産品は、違った魅力を持つものであり、地方の魅力にさらに接したい本区住民は多いものと考えられる。地方の魅力を効果的に発信することにより、人的な相互交流が活性化され、地域経済の活性化に貢献するものと考えられるため。

15　施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	本区は86自治体と、観光・教育・産業・防災といった分野での連携・協力を行っており、相互発展に寄与する仕組みを整えている。本区の強み及び交流都市の強みを生かして、相互に発展する関係を今後も継続していく。池袋は、各方面を結ぶ5社13路線の鉄道が交わるターミナルであり、その特徴を生かした西武線沿線サミット、東武東上線沿線サミット事業を展開している。沿線各地の魅力を相互に発信し、豊島区を含む沿線自治体の発展に寄与するよう今後も連携していく。
16　施策貢献度の考え方（設定の根拠・理由）	【貢献度の設定根拠】上記15に記載のとおり、本区は57の多種多様な自治体と様々な分野で連携・協力をしており、各自治体の魅力を相互補完し、ともに発展していくために今後も交流を続けていく方針である。そのような「ひと」や「もの」の交流を深め、自治体間の交流に直接的に貢献する事業を★★★、様々な地域と共生し、ともに豊かな生活を実現し、地域活性化に貢献する事業を★★とする。

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

17　来年度の方針 （課題解決策や改善策、成果向上策について）	今後もソメイヨシノ等としまブランドを交流都市にも広めていき、国内だけでなく外国人観光客にも対応できるようインバウンド対応にもより重点を置いていく。
18　新規・拡充事業の効果や必要性	増え続ける外国人観光客にも対応できるようインバウンド対応を強化し、おもてなし環境を整備していく。

19　施策を構成する計画事業

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0503-14	都市交流推進事業		事業費合計（千円）	2,942	1,784	1,688	1,688	1,688
			うち一般財源分（千円）	2,942	1,784	1,688	1,688	1,688
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		
0503-11	インバウンド冊子作成		事業費合計（千円）	5,940	5,778	9,504	7,322	7,322
			うち一般財源分（千円）	2,970	2,889	2,970	2,970	2,970
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	―（再掲分）				
	事業特性2	国・都補助＋区上乗せ	今後の事業の方向性					
0101-06	地方との共生推進事業		事業費合計（千円）	300	500	1,054	1,054	1,054
			うち一般財源分（千円）	300	500	1,054	1,054	1,054
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

1　施策No.	8−1−4		
2　地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち		
3　政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進		
4　施策	アート・カルチャーによる魅力の発信【重点】		
5　評価担当部	文化商工部		
6　施策関連課	生活産業課	文化デザイン課	
7　評価者	文化商工部長		

8　施策の目標	文化を媒体として、世界に豊島区の魅力をアピールし、バーチャルだけでなくリアルに世界とつながり、新たな文化潮流を常に発信し続ける魅力と活力にあふれた都市像を発信していきます。 マンガの創成期から最先端のマンガ・アニメまで世代を超えたマンガ文化が融合するまち、池袋演劇祭、フェスティバル/トーキョー※など舞台芸術のまちの魅力を世界に向けて発信します。
9　施策の現状と課題	○　豊島区では、地域の団体や企業、NPO等による特色のある文化芸術活動が様々な形で展開されている。それぞれの活動が個別の地域や領域の中にとどまりがちなため、相互の「文化資源の連携」を図り、豊島区全体（オールとしま）としてアピールすることが重要である。 ○　豊島区の顔である池袋駅の周辺では、歩行者がゆったり歩いたり、イベントを開催するスペースが不足している。 ○　オリンピック・パラリンピックを開催する国際都市として、無料Wi-Fi、多言語対応の案内板などの基盤整備を急ぐ必要がある。さらに空間整備を進め、「人と環境にやさしく、文化を軸とした活力あふれる都市：国際アート・カルチャー都市」へ進展することが求められている。 ○　東京の中で大きな存在感を発揮する都市として、豊島区の魅力を豊島区全体で積極的に、世界に向けて発信力を強化する必要がある。東アジア文化都市2019豊島の開催をはじめとして、国際絵画公募展アートオリンピア、フェスティバル/トーキョー、東京芸術祭を豊島区で開催していく。
10　施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等）	2020オリンピック・パラリンピック開催に向けての文化プログラムと、東アジア文化都市2019豊島のレガシー事業へ対応していく必要がある。 また、芸術文化劇場をはじめとする新規施設を有効に活用していくことが求められる。
11　今年度の施策の取組方針	○舞台芸術、美術等の文化発信の拠点から区民が文化に親しめるよう鑑賞と交流の機会を提供する。 ○地域で展開されている主体的な文化・芸術活動を創造する活動を支援する。 ○東アジア文化都市2019豊島開催に向けた事業展開にシフトしていく。

12　投入コストの推移

費　目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費合計（千円）	277,951	367,707	9,543,742	0	0
うち一般財源分（千円）	277,411	364,769	977,981	0	0

13　施策の達成度を測る指標の推移

指標(1)　基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
フェスティバル/トーキョーの入場者数（都市型総合芸術フェスティバル「東京芸術祭」の入場者数）【人】	目標値	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
	実績値	83,014	107,770	84,589		
	達成率	110.7%	143.7%	112.8%	—	—
	達成状況	A：達成	S：目標超過達成	A：達成		
指標重要度の割合(%) 50	指標設定理由	入場者数は、豊島区のアート・カルチャー都市としての魅力がどれくらい発信され、認知されているかを示す指標				

指標(2)　基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
文化プログラムの認定事業数	目標値	20	60	60		
	実績値	0	0	0		
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	—	—
	達成状況	D：大きく未達成	D：大きく未達成	D：大きく未達成		
指標重要度の割合(%) 20	指標設定理由	東京五輪文化プログラムを通して、どの程度文化芸術の創造を国内外に発信できたかを示す指標であるため。				

指標(3)　補助指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
庁舎まるごとミュージアム回廊美術館のべ展示点数【点】	目標値	500	500	500	500	500
	実績値	727	1,680	1,645		
	達成率	145.4%	336.0%	329.0%	—	—
	達成状況	S：目標超過達成	S：目標超過達成	S：目標超過達成		
指標重要度の割合(%) 30	指標設定理由	庁舎まるごとミュージアム構想に基づき、区民目線で新たな文化的事業の発信をしていくという意味で、重要な指				

14　施策達成状況

平成30年度達成状況　155.1%

【達成状況分析】

S：目標超過達成

○「フェスティバル/トーキョー」は都市型総合芸術フェスティバル「東京芸術祭」の一環として位置づけられ、東京全体の文化事業としても貢献することとなった。豊島区内の公園を利用した演劇や、公園内のカフェを使った公演などが好評であり、従来以上の集客結果を生んだ。
○文化プログラムについては、その認定基準が示されるのに想定以上に行程を踏む必要があり、現在未達成度合いが高くなっている。
○庁舎まるごとミュージアム構想に基づき、区の回廊を使った回廊美術館により、区民目線の新たな文化的事業発信ツールが確立しつつあることがわかる。

【指標重要度の割合の設定理由】

フェスティバル/トーキョーは、東京芸術祭の一部となり、豊島区の国際アート・カルチャー都市構想実現の大きな柱であるため、重要度を上げた。庁舎まるごとミュージアム回廊美術館のべ展示点数は「新たな文化潮流を常に発信し続ける魅力と活力にあふれた都市像」を実現するために大きく貢献しているためこのように按分した。文化プログラム認定については、現在検討を進めている。

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

15　施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	フェスティバル/トーキョーは、池袋を中心とした舞台芸術の創造・発信による地域の活性化とイメージアップを図り、東京芸術祭の基幹事業ともなり、国際アート・カルチャー都市構想実現に向けての大きな牽引力になっている。また、東アジア文化都市事業は区が目指す国際アート・カルチャー都市構想実現戦略の国際戦略に位置付けられ、都市の魅力発信効果は相当なものであり、区の文化政策の集大成及び国際都市推進の起爆剤となる事業であるが、30年度は主に開幕式典のほか、31年度に向けた準備期間となっている。
16　施策貢献度の考え方（設定の根拠・理由）	東アジア文化都市2019豊島の開催は、区の文化政策の集大成及び国際都市推進の起爆剤となることが予想される。現在具体的な実施に向けて動き出しており、当施策への貢献度は極めて大きいと考える。フェスティバル/トーキョーは貢献度としては高いものの、30年度においては他のプロジェクト系事業と比べて、相対的に貢献度が低いと判断した。
17　来年度の方針（課題解決策や改善策、成果向上策について）	オリンピック・パラリンピック開催と、東アジア文化都市2019豊島のレガシーに向けて、各施策の統合的な展開を図るなど、来年度もオールとしまで、引き続き実施していく。まるごとミュージアムを使って、文化をはじめとする区の各施策をPRし、盛り上げていくことも重要である。
18　新規・拡充事業の効果や必要性	オリンピック・パラリンピック開催と、芸術文化劇場・新区民センター、Hareza池袋の活用、東アジア文化都市レガシー事業実施を見据えて計画を策定していく必要がある。施策実現のためにはハード面、ソフト面ともに、より一層充実した事業展開が求められる。

19　施策を構成する計画事業

事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0502-20	東アジア文化都市推進事業	事業費合計（千円）	6,300	60,699	221,650		
		うち一般財源分（千円）	6,300	60,699	50,999		
		現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1　任意的事業	施策貢献度	★★★	★★	★★★		
	事業特性2　国・都補助	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	一般事業(評価対象外)		
0502-21	「フェスティバル/トーキョー」開催事業	事業費合計（千円）	10,000	10,000	23,600		
		うち一般財源分（千円）	10,000	10,000	23,600		
		現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1　任意的事業	施策貢献度	★★	★	★★		
	事業特性2　区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
0502-22	ラ・フォル・ジュルネTOKYOの開催	事業費合計（千円）			13,640		
		うち一般財源分（千円）			13,640		
		現状評価					
	事業特性1　任意的事業	施策貢献度			★★		
	事業特性2　区単独	今後の事業の方向性			D:終了		
0502-23	庁舎まるごとミュージアム運営事業	事業費合計（千円）	2,895	6,434	9,954		
		うち一般財源分（千円）	2,895	6,434	9,954		
		現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1　任意的事業	施策貢献度	★	★★★	★★		
	事業特性2　区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充			
0502-01	芸術文化劇場の整備と文化芸術発信事業	事業費合計（千円）	52,176	89,966	9,040,720		
		うち一般財源分（千円）	52,176	89,966	647,876		
		現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1　任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	—（再掲分）		
	事業特性2　区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	一般事業(評価対象外)		
0502-02	あうるすぽっとの運営と文化の発信事業	事業費合計（千円）	193,089	190,344	199,785		
		うち一般財源分（千円）	189,999	187,406	197,522		
		現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1　任意的事業	施策貢献度	★★	★★	—（再掲分）		
	事業特性2　区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
0502-03	文化芸術創造支援事業	事業費合計（千円）	5,202	3,766	5,446		
		うち一般財源分（千円）	7,752	3,766	5,443		
		現状評価	A：良好	B：普通			
	事業特性1　任意的事業	施策貢献度	★★	★★	—（再掲分）		
	事業特性2　区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
0502-06	子どものための文化体験事業	事業費合計（千円）	14,474	14,474	14,474		
		うち一般財源分（千円）	9,974	9,974	10,674		
		現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1　任意的事業	施策貢献度	★★	★★	—（再掲分）		
	事業特性2　区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	B:改善見直し	一般事業(評価対象外)		

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

0502-07	次世代育成事業助成（としま未来文化財団事業助成）		事業費合計（千円）	5,502	5,944	5,906		
			うち一般財源分（千円）	5,502	5,944	5,906		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★★	―（再掲分）		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
0502-08	文化芸術振興事業助成（としま未来文化財団事業助成）		事業費合計（千円）	84,046	70,962	83,492		
			うち一般財源分（千円）	87,046	70,962	83,492		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★★	―（再掲分）		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
0502-10	映像文化普及・映像教育事業		事業費合計（千円）	8,289	6,498	6,397		
			うち一般財源分（千円）	8,289	6,498	6,397		
			現状評価	A：良好	C：不十分			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★	―（再掲分）		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	B:改善見直し	C:縮小		
0502-18	伝統芸能＠南池袋公園事業		事業費合計（千円）			22,550		
			うち一般財源分（千円）			22,550		
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			―（再掲分）		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性			D:終了		